

この街が好き 25

人・風・光

一人から 千の祈りへ。



1万5千羽から始まった 市川発の”平和の折り鶴”は15年で15万羽に。

63年前、8月6日に広島に、3日後の9日には長崎に原爆が投下され、多くの人の命を奪い、消し去れない苦しみを残しました。過ぎ行く年月のなかで風化する戦争の痛みを後世に伝え、世界の恒久平和を願うため、毎年、原爆が投下された日に両市で行われている式典には、それぞれの思いが託された折り鶴が全国から集まります。その日を前に、今年もたくさんさんの折り鶴が市川市に届けられています。

平成4年、戦争を経験した一人の女性市民から市へ、広島平和記念式典に送って欲しいと1万5千羽の折り鶴が届きました。「あの忌まわしい戦争が二度と起こらないように」との祈りが込められた折り鶴は、翌年には2万羽になり、5年目には3万羽に。これをきっかけに、平成9年から市民に向けて平和の折り鶴の募集を始め、昨年は15万羽を広島市と長崎市に送りました。

平和への虹の架け橋のような7色の千羽鶴。澄み渡る大空を、国と国をつなぐ広

い海を思わせる青い千羽鶴。限りある資源を大切にしたチラシや包装紙の千羽鶴。1羽1羽、切なる思いを込めて折られた鶴が、世界中の人々が手をつなぐように糸でつながれ、千の祈りとなって飛び立つ日を待っています。

平和は、そこにあるものではなく、みんなで作って、守っていくものです。戦争を知らない世代が増えた今だからこそ、一人ひとりが平和の意味を考えなくてはならないのではないのでしょうか。平和の折り鶴は、7月11日(金)まで募集しています。世界中に平和へのメッセージが伝えられるように、どうぞご協力ください。

●千羽鶴は、長さ150cm以内、幅25cm以内に
束ねて、市役所、行徳支所、大柏出張所に
設置している専用箱に入れてください。

みんなで「平和」を願い、考えるために

昭和59年11月に核兵器廃絶平和都市宣言をした市では、若い世代に核兵器の恐ろしさを語り継ぎ、悲惨な戦争を繰り返すことのないように、平和の折り鶴募集を始めとするさまざまな平和事業を行っています。(総務課)

●平和の折り鶴展

皆さんから寄せられた折り鶴を広島市と長崎市に送る前に展示
日時・場所 7月14日(月)～18日(金)／市役所1階多目的ホール

- 原爆投下日・終戦記念日の啓発
- 平和寄席
- 市内小・中学校の児童・生徒による平和ポスター展
- 平和映画会
- 平和ビデオ・パネルの貸し出し



草むらの中まで探します



「気持ちいい」河川敷に 江戸川クリーン大作戦

前日までの雨がうそのように晴れ渡った6月1日、今年も「江戸川クリーン大作戦」が実施されました。川沿いの2区11市町が一丸となり、地域の人たちが河川敷を中心に清掃活動に汗を流しました。

ごみ袋や軍手は配布されますが、自前の道具を用意する人も多く、意気込みが伝わってきます。ごみ袋は、空き缶やペットボトル、お菓子の包装紙などですぐいっぱいになり、草むらの中からは大型ごみが見つかることも。江戸川は、皆さんが毎日使う水道水の水源でもありますから、汚さないように利用したいものです。

きれいになった河川敷に吹くそよ風は、一汗かいて帰る人たちをねぎらっているかのよう「気持ちいい」ものでした。



いろいろなごみが集められました

皆さん
ありがとうございました!

実施結果

参加人数
1,751人(子ども466人)

ごみ収集量
燃やすごみ880kg
燃やさないごみ580kg



▲抽選で乗車できたミニSLを楽しむ親子

この日は父の日でもあり、親子連れの来場者が多く、子どもについて回るお父さんの姿が目立ちました。どこのイベントも子どもの笑顔であふれ、お父さんと一緒に笑顔に。父の日の最高のプレゼントのふたが、いたるところで開けられていました。



▲勾玉作りはうまくできたかな?



▲さかな釣りに夢中です(伝承遊びコーナー)



(文・写真/広報担当T)

子どもからお父さんに 笑顔“を”プレゼント ——鬼高さんしゃ祭——

鬼高の「さんしゃ」の施設が、日頃の感謝の気持ちを込めて開催する「鬼高さんしゃ祭」。今年、6月15日の県民の日に開催されましたが、軽食は早々に売り切れとなり、劇団の公演は立ち見も出て、大盛況でした。

「暮らしに役立つ」テレホンガイド

■急病診療所(内科・外科・小児科)

休日や夜間などの急な病気の初期診療

☎ 377-1222

月～金曜日(外科は除く)午後8時～11時

土曜日 午後8時～11時

日曜日・祝日 午前10時～午後5時

午後8時～11時

■休日急病等歯科診療所

休日に痛み出した歯の応急処置

☎ 377-8888

日曜日・祝日 午前10時～午後5時

■消費生活センター

商品やサービス契約についての相談に対応

☎ 334-0999

月～金曜日(来所と電話、第2・4土曜日(電話のみ) 午前10時～正午、午後1時～4時(祝日除く)

■子ども家庭総合支援センター

(愛称 子ども子育てほっと館)

子育てに関するあらゆる相談に対応

☎ 334-1392

(児童虐待通報は、☎ 334-1391)

月～金曜日 午前9時～午後5時(祝日除く)

■少年なんでも相談(少年センター)

悩みを抱える19歳までの子どもと親を応援

☎ 320-3340

月～水・金曜日 午前9時～午後5時(祝日除く)

木曜日 午前9時～午後7時

■地域包括支援センター

高齢者とその家族の身近な相談所

☎ 303-9555

北部地域包括支援センター

☎ 334-1152

中部地域包括支援センター

☎ 359-1274

南部地域包括支援センター

☎ 359-1274

月～金曜日 午前9時～午後5時(祝日除く)

■まちの相談直行便

困り事に現地へ出向いて対応

☎ 336-9666 (本庁管内)

☎ 359-1743 (行徳支所管内)

月～金曜日 午前8時45分～午後5時(祝日除く)

365日 平日夜間も小児科外来医が待機

広告

ケーブルテレビはあなたの生活パートナー

JCNインターネット

JCNテレビ

JCN電話



JCN市川

いちかわケーブルネットワーク株式会社

11ch JCNプラス

☎ 0120-11-7971 <http://www.icnet.ne.jp/>

7月10日木まで

平成20年度 1%支援制度

団体選択の届け出は、お済みですか?

エコポイントや
eモニポイントでの
支援もできます

支援したい団体が決まってい、まだ届け出をしていない方は、お急ぎください。支援したい団体が決まらない場合は、市民活動団体支援基金への積み立てを選ぶこともできます。

支援活動対象団体の活動PRは、6月7日発行の「広報いちかわ1%支援制度特別号」またはPR誌をご覧ください。届出書も添付しています。

●届出書に記入する納税通知書番号は、今年(平成20年度)の市県民税の納税通知書の番号でも可。分からない場合は、本人であることが確認できる身分証明書を提示してください(郵送の場合は写しを同封)。

●市のホームページからでも届け出ができます(納税通知書番号が分かる方のみ)。

届け出ができる窓口
(PR誌、届出書も設置)

市役所債権管理課、行徳支所税務課、大柏出張所、南行徳市民センター、情報プラザ2階電子行政サービス窓口、市内各公民館

●問い合わせ ● ☎ 326・1284 ボランティア・NPO担当

テレビ市川(CATV)
アナログ 9ch
デジタル 11ch

「マイタウンいちかわ」 放送時間
7月5日(土)～11日(金)
10:00 12:30
18:30 21:30

特集 さらに質の高い市民サービスを目指して
～市川市の職員研修～

「マイタウンいちかわ」のバックナンバーは、市のホームページ「インターネット放送局」でご覧になれます。

83.0

市川 エフエム放送
83.0MHz「エコーいちかわ」
月曜日～金曜日/10:00 18:45 (広報担当)